

学校再編地域協議会富士小学校区部会（第1回）会議録

日 時	令和5年2月21日（火） 19時00分～20時30分
開催場所	フラワータウン市民センター 2階視聴覚室
出席委員	坂本委員 宮井委員 前田委員 出合委員 梶井委員 寺田委員 西中委員 喜多川委員 篠原委員 塚本委員 田中委員 岡田委員
事務局出席者	（学校教育部長）松下 修 （学校教育部担当次長）外岡 明文 （学校再編課長）上野 樹（係長）石塚 誠（指導主事）岡崎 正文
議題	1. 開会 2. 質疑・意見交換 3. 今後の進め方 4. その他 5. 閉会
傍聴者の人数	5名

会議の概要

事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none">・本会議の公開決定。傍聴者の報告（5名）・会議の成立（委員12名全員出席） <p>～松下学校教育部長 開会挨拶～</p> <ul style="list-style-type: none">・会議資料の確認 <p>2. 質疑・意見交換</p> <p>では、今から次第「2. 質疑・意見交換」に入る。</p> <p>事前にいただいた質問・意見について先に紹介させていただく。質問1件、意見2件である。質問「小中一貫教育の推進は、何年度からか」については、第3期三田市教育振興基本計画に「小中一貫教育の推進」を位置づけ、令和4年度から全市的に取り組むこととしている。今回の再編が実現すれば、新しい小学校が出来て、市内で初めて小学校1校、中学校1校の体制になることから小中一貫教育のより具体的な推進が図れるものと考えている。いつから始まるのかの質問に対しては、この協議会の協議の結果を経てということになるため、今、何年度からとは言えないが、トップランナー、先進校として進めていきたい。</p> <p>意見「資料4についても事前に配布してほしかった」については、教育委員会の考えを説明するにあたり、情報公開のタイミングを統一する必要があったため、当日資料として配布した。この説明に対する質疑、意見交換については今日の部会で行いたい。最後に意見「再編に関して、優れた先進事例の収集、提供を行ってほしい。また教職員定数の加配措置による支援を行ってほしい」については、先進事例、加配についてももう少し意見の内容を確認し、対応したいと考えている。</p>
委員	<p>前回の協議会で違和感がある。まず一つ目の違和感というのは、教育委員会がことさらに、「子どもたちのため」と言われるが、それは当たり前のことである。一般市民が子どものことを思い言うのは構わないが、教育者の立場の方が「子どもために」と言うと「綺麗事を言っているのか、今まで子どもたちのことをしていなかったのか」と思い、少し違和感がある。</p> <p>前回の資料4-2の学校の設備備品等について「富士小学校にした場合には、新たに必要となる設備等は特にない。」すなわちお金がかからないということが書いてある。逆に言うと、「弥生小の場合であれば、エレベーター等の工事が必要だから経費がかかる。」こういう言い方では「富士小にした方が安く上がる。弥生小にした方が、お金がかかる。だから富士小にします」ととれる。逆発想で、仮に「弥生小の方が、お金がかからないとしても富士小にもっていきます」と言ったらよくわかる。はなから「富士小にしないで弥生小にもって行くとお金がかかるから、多額の費用を捻出しないとイケないから、富士小にします」というふうに思える。「富士小にもっていくとお</p>

事務局	<p>金はかかる。弥生小だったらかかりません。」という逆の状況であっても、例えば「人口重心のことを考えたがゆえに富士小の方がベター、ベストはないと思う。最善ではなくどちらが良いかというベターな方法だと思うので、それだったら、富士小の方がまだベターではないか」という論議をした方が、一市民としては納得できる方が多い。初めに、「富士小ではお金がかからない。弥生小にすればお金がかかる。だから富士小の方が安上がりです。ネームプレートぐらいを変えたら、明日からでもできる。」という発想に聞こえる。書き方、説明の仕方を考えた方が、一市民にとってはわかりやすいと思う。</p> <p>経費の関係は載せるかどうか内部でも議論をしたが、設備が整っていれば、新しい学校のスタートも早くなる。新たに整備するということになると支障があり、校舎等の形が変わることになるため設備の関係も載せた。「要はお金か」ということになるということはわかった上で、こういう書き方になったことをご理解いただきたい。</p> <p>「子どものため」という説明をしたが、当然、学校というのは、子どもが学ぶ場であるところは、十分理解しており、それをことさらに強調してお伝えしているということではない。しかし、学校にはいろいろな位置づけがあり、地域の方々の利用や、子どもたちの毎日の学びの場などになっている。ご意見をお聞きする中で、地域やまちづくりの視点での意見が出てくることも多くあるので、「学校は子どもの学びの場」ということを理解していただいて進めていきたいと思っている。</p>
委員	<p>この資料は弥生小と富士小の比較だけで言っている。これでは弥生の方が怒られても無理ないと思った。それと、結論ありきということ。今後の進め方にもなると思うが、この新しい小学校がどのようなメリットを出し、「富士小の方が、経費がかからない」ということで済ませないで、「もっといいものを作ろう」という言葉がひとことあってもよかったと思う。</p>
委員	<p>この協議会の委員になる際に設置要綱を見たが、その中に協議会の所掌事務の中に、「再編の是非に関する意見のとりまとめ」というのがある。この前、教育委員会の考え方が示され、再編ありきでスタートするのかと思った。第1回目いきなり出たので違和感があった。「統合が全て善で、継続するのが悪い」という部分について説明があった上で、資料が出ればよかった。</p> <p>あり方検討会の資料を持っているが、雰囲気もわからない中で、このような説明をスタートされたのはいかがなものかと思う。</p>
事務局	<p>あり方検討会では、資料3 参考資料1を用いて、基本的な考え方については説明をしている。また、児童数の推移を説明しながら、各学校であり方検討会をさせていただき、事務局としては意見を聞きながら、どのような枠組みで協議をしていくのがよいかを整理をする中で、「中学校区を超える小</p>

	<p>学校の再編はなかなか考えにくい」ということであるとか、「小規模化が進むこの富士・弥生の両校については、協議の場を設ける必要がある」というところを整理させていただき、この協議会を設置し、みなさんに改めて協議をいただいている。</p> <p>協議の内容として「再編の是非、時期、通学手段、その他再編に関する課題意見の取りまとめ」というようなことを所掌事務としており、こういった意見の取りまとめや、課題の抽出をみなさんにお願いをしたいと考えている。</p>
委員	<p>例えば富士小で、「今のままでいい」という意見もあると思うし、弥生小でも、「今のままでいい、小さいから悪いわけではない。良さもあるし、市内ではいろいろな規模の学校が存在している」と思う人もいます。その辺りの議論が飛び越えたと感じる。</p>
事務局	<p>当然「小さい学校でもよい」という意見はあると思うので、どういう方向が良いかを、協議いただきたい。</p>
委員	<p>私たちの子どものために、子どもの将来のために新しい学校を作ることは大賛成である。</p> <p>私はあり方検討会から参加させていただいて、いろんな意見が出た。今、弥生小学校が全学年1クラスで単学級であるが、富士小学校も令和8年頃からはそういう状況になってくる。これが悪いとか良いとかそういうところではなく、全体の人数の減少が問題。これも大きく言うとフラワータウン全体の問題だが、その中で、私もいろいろな地域活動に参加し、子どもと接する機会が多いが、子どもがもっともっと明るく元気に活発に活動できる環境の場をつくりたいと思っている。「我々、地域がこの子たちの成長に役立てるとありがたい」という思いでやってきた。</p> <p>その中でこの学校再編の問題が出てきた。先ほどの委員から「文書では見ているが、なかなか実感が湧かない。」といわれたが、そういうことで、一挙にありきとを感じるのかと思う。「もう、統合しますよ」という提案がされたので多少違和感があるが、今更もとへ戻れない。これから多少時間があるので、ゆっくりかつスピードアップしながら新しい学校を作ってほしい。</p> <p>私が弥生の人間であれば、地元、自分の地区、自分の学校の愛着心があると思う。そこを加味しながら、考慮しながら、我々もいい意味で、今後一つの地域として、これからまた将来、子どもさんが発展するために、お互いに協議をやっていくスタンス、考え方でこの協議会やらないといけない。</p> <p>あり方検討会でPTAの方がおっしゃっていたが、子どもさんを持つ親が、弥生と富士で分断や区別が出てくると悩ましい話となる。そういうことがないように、我々保護者も含めて地域でバックアップしなければならない。そのような課題がたくさんあると思う。そのことを踏まえて、ゆっくり</p>

事務局	<p>なおかつスピードアップをしてやっていただきたいと思う。</p> <p>それから、自分の考えでは、これをステップに小中一貫校をぜひとも実現してほしいと思っている。釈迦に説法で申し訳ないが、学習の場と子どもの社会体験の場として小中一貫校をめざしてほしい。9年制や6・3制、昨今4・3・2制などいろいろとカリキュラがあるが、そういうことをめざして、未来ある、夢のある地域にしていきたいと感じる。</p> <p>だから、みんなお互いに多少の考えが違って、同じ仲間、同じ地域ですから。このメンバーもつながっていると思うので、そういう方向で、将来が明るいことになればと、この前の協議会で感じた。</p> <p>小中一貫校という話が出たが、今は「小中一貫教育」というところで「小中一貫した9年間を一つの学校で」というところまでは至っていない。</p>
委員	<p>個人的な思いで言ったので、「将来的にはそういうことも考えてほしい」という意見である。もう一つ、みなさんもこのメンバーで地域活動をされている中で、私は富士で隣が弥生、隣が上深田、池尻でみんなこの地区は一緒に、それは一つの一軒家だと思う。</p> <p>例えは悪いが、富士小と弥生小が会社でいうと50対50の対等合併みたいなもの。そういう中で弥生の立場に立って、我々富士と上深田と池尻が、気持ちの上で対応する。4地区で子どもさんのバックアップや、交流の場を作りたいと思っている。</p>
委員	<p>私は、来年度は3人の子どもを小学校に通わせてお世話になる。私は富士に住んでいるからかもしれないが、「統合はあってしかるべき」と思う。</p> <p>統合するなら、まず子どもたち児童たちの負担が最小限で済むような方法を考えていかなくてはならない。それは心理面の負担である。例えば弥生小の方からすれば、慣れた学校を離れ、新しい学校に行かなくてはいけない、向かわないといけない。不安もある。あとは通学が遠くなるということで体力的な負担がある。今まで10分で行けたところが20分。往復すると倍かかる。そういった面も含めてスクールカウンセラーの増員などが必要と思う。学校の先生たちの1人当たりの負担というのも大きくなってくると思う。そういう検討もしていただきたいと思う。</p>
委員	<p>今、子どもの親御さんのご意見を聞かせていただき、親御さん等のご意見が大事と思い、もう少し聞きたいと思う。</p> <p>もう一点は、あり方検討会で、「子どもたちの交流をどのようにするのか聞かせてほしい」という親御さんからのお話が出ていたが、その辺も、もう少し具体的な話し合いがあれば、周りの人たちの理解もできると思う。</p> <p>私がうれしかったのは、前回の会が終わった後で、弥生小のPTAの方と富士小のPTAの方が話をしているのを見ながら帰らせていただいた。お母</p>

	<p>さんたち、お父さんたちは子どもたちのことを思うからこそ、早く手をつないでと言う感じがした。周りの人たちもそういう目線も必要と思うので、ぜひ富士小のPTAのみなさん、弥生小のPTAのみなさんと、早く現状やお互いの立場での考えを話し合われた方がいいと思う。そしてその話し合いの内容を私たちにも聞かせていただけると、私たちもよくわかり、理解ができるようになると思う。</p> <p>前回は、熱い気持ちになった方もおられたかと思う。ここにいる委員のみなさんは新しい学校に通わないですよ。僕も含めて委員のみなさんも、教育委員会のみなさんも通わないと思う。子どもたちだけが通うので、その子どもたちが新しい学校を使うときに、どう使うのがいいのか、見守り隊の方も今、富士小でパトロールしていただいているが、新しい校区に通う子どもたちは果たして安全に通えるのかということをもっと話ができればと思う。</p> <p>委員が話された心のケアも統合してからのことであるが、子どもたちが新しく使う学校で生活すること全部について、僕たちは想定しておかなければいけないと思う。</p> <p>基本的に教育委員会のみなさんには、強烈なリーダーシップを発揮して、統合を進めてほしいと思うが、そこでリーダーシップだけじゃなく、もっとフォロワーシップも発揮してもらえば、うまくまとまっていくと思う。</p> <p>新しい学校を子どもたちが使うこと。リスクを想定する話し合いができればと思う。</p> <p>また、経費の話も出たが、例えば「弥生小ではさらにお金がかかり、富士小だとお金がかからない」と聞いたが、浮いた経費を「こういう子どもたちの教育に使います」や、「こういう新しい取り組みができます」と言ってもらえれば、理解が進みやすいと思う。そのような経費の使い方ができるかどうかはわからないが、そういう話であると納得しやすいと思う。</p> <p>具体的に、「こんないいことがある」と言ってもらう方が、イメージしやすく、「子どもたちはこんな経験ができる」というように親としては思えるので助かる。</p> <p>どちらの場所で統合するにしても、地域から学校がなくなる喪失感はかなり大きいと思うので、跡地をどのように活用するか。地域に活用するのかしないのか、その跡地を利用してどんなにぎわいを創出するのかを打ち出してもらおうと納得しやすいと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>事務局</p> <p>跡地の活用はまだ決まっていないが、弥生の方からも「跡地の活用についてどうするのか」という意見を聞いている。ただ、「跡地の活用を決めるのは時間かかり、統合の協議と同時並行では非常に時間がかかるため、統合が決定後、協議すればいいのではないか」というご意見もいただいている。</p> <p>我々としては並行して進めるのではなく、子どもたちの教育を考えたときに、まずは統合して新しい学校をつくることをご理解いただき、その後跡地</p>

	<p>の活用を検討させていただきたいと思っているが、この点についてもご意見いただきたい。</p>
委員	<p>前回の協議会の意見で出ていたが、先進事例を複数紹介していただくことにより、みなさまの理解と課題の抽出がより早い時間でできると思う。</p>
事務局	<p>統合や再編の事例は全国たくさんある。例えば統合してから4, 5年経ったときの子どもたちの声を聞いたような資料や進め方等があると思う。</p>
委員	<p>統合の協議の進め方についての資料を知りたい。</p>
事務局	<p>協議の進め方ということで全国や近隣のところで調べて資料を提供する。</p>
委員	<p>「どういう課題があったか」や、「どのように解決してきたのか」を教えてください。</p>
委員	<p>新しい学校という視点に立った場合、10年ほど前に尼崎にできた3部制の阪神昆陽特別支援学校がある。全国の先端をいく学校である。市町村レベルでいうと、この富士小学校とひまわり特別支援学校のような、いい学校は他の市町村にない。今は富士小の子どもとひまわり特別支援学校の子どもの交流の場であるが、今度は、そこに弥生小の子ども入るという部分も取り入れてもらえば、校区が広がったからこそできる特色であると思う。</p> <p>それが、三田市の他の地域まで、隅々まで行き届くようにしてほしい。教育委員会が知恵を絞っていただきたい。統合、統合と言っているが、私が言っているのは統合教育、インクルージョンの方。子どもの現状から合理的配慮があり、インクルージョン、インクルーシブな時代ですから、そのようなことを実現できる、具現化できる市であってほしいし、その音頭取りの教育委員会であってほしいと思う。</p>
事務局	<p>中学3年生の卒業式前日に、ひまわりの保護者の方が、富士中の卒業生に向かって話をする時間があつた。</p> <p>「富士小の1年生のときから、9年間みなさんと一緒に過ごすことによって、思っている以上の成長をすることができた」ということをお母さんが、富士中の子どもたちの前で話された。私も後ろで話を聞いていたが、いろいろと感ずることがあつたのか、話を聞いていた女の子が、涙をうかべながら話を聞いていた。初めに話をさせていただいたが、小学校1年生の時から子どもたちが一緒に接してきた一つの価値と思っている。</p> <p>三田市はそのようなインクルーシブ教育の先駆け、トップランナーを走ってきた市だと私は自負している。そのことについて、やはり富士小はトップランナーであり、富士中もトップランナーであり、この地域がトップランナ</p>

事務局	<p>一であるという自負を持っている。この考え方は先輩教員から引き継いできたことで、そのことをしっかり意識し、この考え方を、礎においてやっていきたいと思っている。</p> <p>資料4の2ページ目に、概念図がある。弥生小と富士小との新しい学校を作る際に、ひまわり特別支援学校との連携という形でのイメージを持っている。</p>
委員	<p>今、見守りもやっているが、今度、弥生と統合し1つになったときに、どういう形で見守り、子どもたちが安全・安心に通学できるかということを考えていかないといけない。</p> <p>この前の教育委員会の案は、先ほどからみなさんが言われているように、違和感があった。統合ありきの形で話が進められて、富士小を新しい学校にするという話もあった。何も統合が悪いというわけではないが、そういう統合ありきよりも先に、筋道として小さな学校、小さなクラスでもいいのではないか。今の少子化になっている時代で、これだけの規模でもどこでもこのような統合の話はあるが、小さな学校や小さなクラスを見ていて、学習意欲や態度など小さいところの方が積極的ではないかと感じる。</p> <p>子どもたちの人格形成や人間的な成長がとても効果的になる感じも見受けられる。そういう観点から、はじめから統合ではなしに、小さくなったときのそういう学校、クラスとしてどうかということを教育委員会として説明してほしい。</p> <p>この前の話から言うと完全にもう、「富士小に一本化で統合する」というふうな話であったが、筋道としてもう一つ、小さな学校、小さなクラスの子どもも良い学習意欲や態度をしているのに浮かばれない感じがあるので、その意味でも、具体的な説明をしてほしいと感じた。</p>
事務局	<p>参考資料3は、小さい学校にはメリットもあるが、一方では課題もあることを説明する資料として提示している。「小さい学校でもよい」というご意見の方もたくさんいると思うので、そういったご意見も聞かせていただきながら進めていきたいと思う。しかし、子どもたちのためにどのような教育環境がよいかを考えたときに、教育委員会としては一定規模の学校が必要と考えている。みなさんにご理解をいただきたいと思い説明している。</p> <p>資料4をいきなり示したことは、大変申し訳なかったと思う。しかし、学校の小規模化に対する懸念があり、富士小と弥生小で再編を考える場合、「どちらの学校の校地を使うか」となった際には、「市がリーダーシップをとって説明してもらわないと、両校間で引っ張り合いになってはいけない」というような意見を踏まえて、まずは教育委員会の考え方として提示し、それをたたき台なりにして、ご議論していただければとの思いであった。最初に、資料4を出したことにより、弥生や富士のみなさんに心苦しい思いをさせて</p>

事務局	<p>しまい申し訳なかったと思う。一旦、考え方は、示したが、そのことが子どもたちの教育にとってよいかどうかというところについて、ご意見を聞かせてもらいながら進めていきたいと考えている。</p> <p>小規模校にもメリットがあるのではというご意見もいただいている。確かに良い点もたくさんある。我々が今回、提案しているのは、これから先の社会を生きる中で、いろいろと先行きが不透明な時代を生きていかなければならない。その中でどういった力があるのかというときに、今までであれば答えがある、そういう社会の中で生きていくことを前提にした集団教育で良かったが、そうではなく、いろいろな情報を集めて、その中で自分1人ではなく、いろいろと友達や仲間と共有しながら答えを導き出す、見つけ出す、そういう学習が小学校、中学校、そして社会に出るまでに経験をしていく必要がある。</p> <p>資料3 11ページに「協働」というキーワードで示した環境を作りたいということが我々の思いである。「個別最適な学び」も、最近タブレットも導入しているので、その中でそれぞれの学習進度に合わせて、進む子はどんどん進み、もしつまずきやすいところがある子であれば、そこを重点的に学習することで次のステップに進めるという「個人の学習」と合わせて、「協働的な学び」という子ども同士が刺激し合うという学習機会が必要だと思っている。それを実現しようとしたときに、小規模となるとそういう学習の機会が、チャンスが少なくなる。それが一定規模の学校であれば、クラス替えの機会も含めて「自分たちのグループではこうだ」、「別のグループではこうだ」、「また別のクラスではこうだ」というふうなことを学び合う。そういうことにつながるということで考えている。</p> <p>一方、小規模の良さも我々も十分に聞かせていただいている。学習内容によっては、今ある1つのクラスを2つに分けて学習をする「少人数の良さ」も取り入れた学習もできる仕組みになっているので、よいところを集めて子どもたちが最終的には自己実現が図れるような学習環境を作っていきたいと考えている。それを今回、教育委員会が示した。今後、みなさんから、ご意見をお聞きする中で、「我々はこういう形で考えていますがどうでしょうか」というようなことで、提案をしながら、この協議会の趣旨である意見のまとめができればと思う。</p>
委員	<p>いろいろとお聞きして、感想を発言したいと思う。</p> <p>前回の協議会の時に、案が示され非常にわかりやすいし、あり方検討会の中で、いろいろと考えたことがまとまっていて、よくできていると思った。</p> <p>しかし、初めてあれを見た人は、あまりにも唐突感があったというのは、みなさんの話を聞いてすごく思った。しかし、本当にどなたも、弥生の方も富士の方も前に進もうと、そして良い地域にしていこう、良い学校を期待するという気持ちは変わらないので、少し丁寧いろいろな意見を聞きながら、</p>

<p>委員</p>	<p>協議しながら前に進んでいければ嬉しいと思う。</p> <p>あり方検討会から我々PTAは参加しているが、前回、11月に最後のあり方検討会を富士小学校でされたときに、「まとまったので、では次」という感じで唐突に、この前の協議会へ進んだ感じがある。協議会がどういう会議か全く私達には想像がついていなかったが、前回出席して、みなさんが、今いる子どもたち、これからの子どものことも含めて考えていただいでいてとてもありがたい、保護者としてもありがたいと思った。</p> <p>ただ、他の方もおっしゃっているが、この資料4が「もうここまで、できているのであれば、もう決まっているのではないか」というように見えて仕方がない。子どもの数が減っているのは私達も承知しており、早くしなければいけないとは思いますが、あまりにも展開が早すぎて、どこに地域やPTAの意見が入っているのかと疑問に思った。早く進めないといけない部分はあるが、きっちりと丁寧に、みんなが納得いく方向で進めていかないと、どこかにモヤモヤだけが残り、見切り発車みたいなことにはならないかと心配も感じる。</p> <p>最初に学校施設、設備のことで経費のことが出たが、「富士小を新設校の場所にすると、設備で特に新しいものは必要がない」と資料4には載っているが、「何もしなくてもいい」とは思わない。富士小も建ってから30年ぐらい経っていると聞くので、何らかの課題はあるだろうし、新しい学校をつくるにあたって、箱をそのままというわけにはいかない部分もあると思う。新しい学校にするのであれば、「このように新しくしていく」という部分は必要かと思う。</p> <p>資料4 2ページに、「新しい小学校の創立（望ましい規模の確保）に伴い、期待される効果」に「複数クラスの設置による、交友関係の広がりや多様な集団の形成、豊かな人間関係の構築」ということで、「子どもたちの交流が広がり良い」ということがある。もちろん新しい友達関係ができるのは子どもたちにとって、すごく良いことだとは思いますが、みんながみんなその輪の中に入れるわけではないので、小学校1校、中学校1校になると、うまく入れなかった子が、極端なことを言えば、9年間しんどい思いをして過ごさなければいけないということは、何とかしなければいけない部分であるし、少数かもしれないが、そういう子どもたちへの配慮やサポートなど、メンタルの部分のサポートは、他の学校よりも手厚くしていただきたい。</p> <p>「交友関係が広がり、子どもたちにとっていいだろう」と大人は思うが、楽しみな反面、子どもたちにとっては不安な部分もすごく大きいと思うので、配慮していただけるように準備をしてほしい。中学校を卒業するまで、「しんどい9年間だった、もう行きたくない」と思う子どもたちをできるだけ減らせるように配慮が必要と思った。</p> <p>先ほど委員より「PTAの方が最後、終わってから話をしていた」ということであったが、私達PTAはあの場で、初めてお会いした。「今後のこと</p>
-----------	--

なども少しご相談したい」ということで話をした。特段これという内容があったわけではないが、学校の場所がどっちになるということは置いて、「子どもたちがいるので、同じ方向を向いて進めるようにやりたい」ということと、「保護者の方の意見を聞くに当って、前回から今回までは、あまりにも時間が短すぎておそらく難しいだろう」ということを話した。

4月には年度が変わり、役員も変わるので、ここにいるPTAの役員は5月以降の次回の部会では多分違うメンバーになると思う。そのときに引き継ぎも含めてきちんとする必要がある。また、保護者の方の意見を聞くのであれば、今ではなく年度が変わって新1年生が入学し、その1年生の保護者の方のご意見もきちんと聞かないといけない。個人的な意見だが、ご意見を聞く機会はおそらく、ゴールデンウィークが終わってからではないかと思う。これから学校というのは一番忙しい時期で、卒業式があり、年度が変わり進級して先生方も入れ替わり、入学して、と慌ただしい4月を過ごされて、ゴールデンウィーク終わりやっと一息というか、子どもたちもようやく慣れて、保護者の方も慣れてという時期になるので、きちんと考えてご意見を出すにはちょっと時間が必要ではないかを感じる。

富士小学校には今、ひまわり特別支援学校が入っているので、ひまわり特別支援学校の保護者の方のご意見もどこかで聞く機会があれば、もっとよりよい学校になると思う。今はなかなかコロナで交流ができないと聞いているが、その中でもZoomを使って交流しているとも聞くので、富士小学校の中にある学校だからこそ、お話やご意見がお伺いできたら、より子どもたちにとって良い学校を作っていけるのではないかと思う。

委員

先日の協議会に出席して、初めて弥生小の方たち、弥生の自治会の方たちの意見を聞いて、その熱意や意見は今まで一切聞いたことがなかったので、そこまで熱い熱意を持っているということがわかった。保護者の方たちの意見も、富士小や弥生小とも全くなかったのではどのような意見があったのかと思っていた。

この資料4を出される前、決定みたいにされる前にお伺いしたかったというのもあった。この資料について、先日の協議会の話があり、統合することに関しては前向きな気持ちであったが、みなさんがおっしゃる通り唐突すぎて、子どもたちがどう思うのか、どういう形で精神面とかそういう影響があるのかないのか。いろいろ不安に終わってしまった会であった。今後、保護者も地域の方々も、子どもたちも不安がないことはないと思うが、不安が解消できるような改善や、提案をまた進めていただきたいと思います。

事務局

資料を出したことにより、様々なところで保護者、地域、子どもたちも含めて、不安になっていることは、本当に申し訳ないと思う。それについて、みなさんのご意見を伺いながら進めていければと思う。繰り返しになるが、資料4については教育委員会の考え方ということで示したが、ここがスター

事務局	<p>トというか、これに決まったわけではないし、こういう考え方を持っているが、みなさんの話を聞きながら協議会の中で協議もしていきたい。また、説明会等も開催しながらたくさんの方の意見をふまえて考えていきたい。</p> <p>今日いろいろとみなさんからご意見を頂戴した。課題的な部分やこれから先の不安など、そういった一つ一つの意見を書き出しているが、ご意見を整理し、部会の中で、例えば「通学の部分や子どもたちへのケアの部分など、こんな形で考えていますがどうでしょうか」という提案や、それに対するご意見、ご要望もあるのではないかとというようなことを、意見交換しながら、課題や不安が解消できるような進め方ができないかと思っている。また、できるだけ多くの方々のご意見も聞いてほしいと聞いているので、説明会も考えていくということで、進め方の部分で、ご相談したいと思っている。</p>
事務局	<p>3. 今後の進め方</p> <p>次第「3. 今後の進め方」で、PTAより意見をいただいたが、そのPTAについてはゴールデンウィーク明けに説明、意見を聞く機会を持ってほしいといった意見があった。そのほか自治会など、広く富士小校区での説明会についてご意見はあるか。</p>
委員	<p>まず前段階の話になるが、この協議会の内容で確認させていただきたい点がある。資料2 第1条3に、「協議会の協議期間は、原則2年を限度とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、協議期間を延長することができる。」とあるが、前回の全体会で教育委員会の考え方として、統合ありきではないが、統合した方がいいのではないかとという案をお示しいただいた。</p> <p>我々委員の方でも、統合するかしないかわからない、決定をしないままでは、結局、話が進んでいかないと思う。例えば「1年後に統合するかしないかを決めます。」など話していただければ、我々もそれに向かって話を進めていけると思う。でも「2年も統合するかしないかわからない、(わからないまま) 今度どうなるのか」という話をしても意味がないと思う。ある程度期間を決めて、発表する場を設けた方が良いと思う。自治会でも説明会の場というのは、持たないといけないと思う。自治会の方でも検討していきたいと思う。市の方ともご相談させていただきたい。</p>
事務局	<p>このことについては要綱上、最長で原則2年と記してはいるが、例えば委員のみなさまで「統合に向けて早く進めよう」ということで意見がまとまるのであれば2年に限らず、「富士小の部会の方ではこういう形で統合についてまとまった。しかし、いろんな課題、意見もあるで、この課題についてはこのような留意点で進めてほしい。またはこのような形で留意することを要望する。」というような形で、まとめることも一つの方法と思っている。</p>

いつまでにと決めることで逆にまた、「あらかじめ決めて進めるべきではない」という意見も出てくることもあるかと思うので、一旦、「統合についてそれぞれ委員さんのご意見をお聞きし、住民のみなさん方の広く意見を聞く。」という機会も必要と思う。いただいた意見をこの場に提供し、統合を進めるか、進めないかというところで、みなさん方の意見をまとめることができればと思っている。その点、スケジュールについてご理解いただければと思う。

自治会での説明会の件、相談させていただきたいと思う。基本的には年度を明けて、4月末からゴールデンウィーク明けでみなさんにご意見を聞く説明会を持たせていただく方向でよいか。

では、自治会と相談させてもらう。

次回の部会について、説明会の前あるいは後に開催ということがあると思うがいかがか。昨日の弥生小部会では、先に説明会を開催し、終わったあとにいろいろな方の意見が出ると思うので、その意見も聞きながら部会を開催する方向となった。その例にならう必要はないが、ある程度足並みもそろった方がいいと思うところもある。もしよろしければそういった格好で行う。あるいは先ほどの課題の整理はそれほど時間かからないと思うので、例えば課題の整理、意見がまとまった段階で、部会を開き協議いただくことも考えられる。みなさんいかがか。

一旦、部会でいただいたご意見を文字に起こし、意見ごとにグループでまとめ、それについて意見をいただく流れを想定したいと思う。富士小部会でも弥生小部会でも、ご意見をたくさんいただいているので、市教委でスケジュールや進め方も含めてまとめ、文書等で知らせる形でよいか。それでまたご意見等があれば、お聞きかせていただき、必要であれば部会をひらくことも視野に置きながら、説明会を年度が明けて、新しい役員の方々、会員さんで行うということで、一旦あずからせていただくこととする。

(一同同意)

それではありがとうございます。

4. その他

次第「4. その他」で、先ほど役員交代という話もあったが、この会議のメンバーもその役によっては変わることもあるかと思う。役員交代がある場合は、できれば引継ぎもお願いして、教育委員会に連絡を頂ければ大変助かる。その場合、用紙を渡すのでご一報いただきたい。

5. 閉会

松下学校教育部長開会挨拶

事務局